

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

2. 入場・受付について

	入場ゲート
選手	Cゲートより入場
競技役員	1F エントランスより入場し、チーム受付・役員受付
引率責任者・同伴者	Cゲートより入場

3. 競技会場入場について

<開門時間>

メイン競技場	両日とも Cゲート 7:30
補助競技場	両日とも 7:30

<利用可能箇所>

	入場ゲート	競技場	補助競技場
選手	Cゲート	メインスタンド・1F通路	利用可
競技役員	1F エントランス	競技役員控室 メインスタンド・1F通路	利用可
引率責任者・同伴者	Cゲート	メインスタンド	利用不可

2. 競技者の招集について

- 招集所は雨天練習場に設置する。
- 招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
(棒 高 跳)	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前

(3) 招集の手順

- 競技者は招集開始時刻までに雨天練習所に集合し点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイク・スパイクピン（走高跳は12mm以下、その他は9mm以下とする）・規定外シューズ衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
- 招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。
- ③多種目同時出場届は兵庫県中学校体育連盟陸上競技部ホームページからプリントアウトした用紙を使用し、競技者係に提出すること。（競技者係は、その旨を流しプロに記載し連携を図る）
- ④四種競技出場者の招集については、(3)の①に従って同様の点呼を受ける。
- ⑤競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督がその旨を競技者係に申し出ること。四種競技出場者が途中で棄権する場合は、混成競技審判長に申し出ること。〔TR39.10〕

3. TR5 競技用靴の対応について

本大会は TR5.2 (TR5: 競技用靴) を適用する。

4. 競技運営について

- トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、アスリートラングで掲載されている番号で示す。
- 時間による最後の1枠に同成績がいる場合、写真判定主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とする。空きレーンがあるか、走る場所がある(800m競走でレーンに複数割り当てる場合を含む)のであれば、同成績者は次のラウンドに進めるようにしなければならない。不可能なら、次ラウンドへの進出者は抽選により決める。〔TR21.5〕
- 「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。〔TR16.5.2〕
- (4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず注意にとどめる。

- (5) 混成競技を除いて、一度の不正スタートでも責任を有する競技者はスターターにより失格させられる。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。
〔TR16.8〕
- (6) 短距離走では、競技者安全のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (7) 競技者に対する助力については、TR6.2に気をつけること。
- (8) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (9) 競技者は助走や踏切をしやすいするためにマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）を、2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。
〔TR25.3.1〕
- (10) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。
〔TR25.3.2〕
- (11) リレー競技を行う場合、競技者は大きさが最大50mm×400mmで他の恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりとした色の粘着テープをマーカーとして1カ所自らのレーン内に張ることが許される。
〔TR24.4〕
- (12) 選手権リレーのチーム編成は1・2年生の出場を認めるが、出走する4名のうち1名は必ず3年生を含むこと。
- (13) リレーオーダー用紙は兵庫中体連陸上競技部HPからダウンロードして各チームで準備し、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに、中央ロビーリレー係に提出すること。ただし、新人リレーは、前日の13時～15時に提出してもよい。
〔TR24.11〕
- ※ユニフォームに関しては同系色を着用すること。
- (14) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。
〔TR4.3〕

5. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ビブス）をつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。アスリートビブス（ビブス）は通常はアスリートランキングに記載のものと同じナンバーでなければならない。
〔TR5.7〕
- (2) **アスリートビブス(腰)はトラック競技の400mまでは選手が用意する。800m以上は主催者が用意する。**
アスリートビブス(腰)は、ランニングパンツ右側上部やや後方に貼り付けること。(800m以上の選手は雨天練習場で貸し出す。競技終了後返却すること。)

6. 競技場使用について

- (1) 本部前の通行は一切禁止する。
- (2) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (3) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (4) **競技場内で選手の携帯電話・スマートフォン・パッド等の電子機器の利用・撮影は禁止とする。**
- (5) 競技会の運営ルール・マナーに違反している者や注意に対して厳守しない者は退場してもらう場合がある。
- (6) 更衣室の利用については可とする。ただし、更衣のみの利用とし、短時間・少人数を心がけること。

7. 用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用すること。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。

8. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場を原則とする。芝生内は一切、立ち入り禁止とする。 ※下記の2種目に関しては別とする。
男子3000m決勝と男女1500m予選のウォーミングアップについて
メイン競技場使用可能時間 7:30~8:45
- (2) 競技場入退場時間内に行うこと。
- (3) 引率責任者は補助競技場の利用・観戦はできない。
- (4) 投てき練習会場以外の競技場周辺での練習（駅伝試走も含む）は禁止する。
- (5) ハードル練習について ※各チームのハードルの持ち込みは禁止する。
補助競技場に設置しているものを使用すること。
- (6) 投擲練習について
補助競技場横の投てき練習会場で行うこと。
メディシンボールのみ使用可とする。(出場選手に限る)

9. 競技による入退場について

- (1) 入退場は競技役員の指示に従って行うこと。
- (2) 競技が終わった者はダグアウト・スタンド下通路を利用し、スタート地点へ戻り荷物を持って退場すること。その際、競技の妨げにならないようにすること。

10. フィールド種目の計測ラインについて

計測ラインは参加標準記録とする。計測ラインに達しない場合は計測しないことがある。
 ※計測基準記録は、天候・その他の都合で変更することもある。

11. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競 技			
走 高 跳	男子 (新人戦)	1m45	1m50 ~ 1m70	5 cm ずつ	1m70 以上	3 cm ずつ
	男子 (選手権)	1m65	1m70 ~ 1m85	5 cm ずつ	1m85 以上	3 cm ずつ
	女子 (新人戦)	1m25	1m30 ~ 1m50	5 cm ずつ	1m50 以上	3 cm ずつ
	女子 (選手権)	1m35	1m40 ~ 1m55	5 cm ずつ	1m55 以上	3 cm ずつ
棒 高 跳	男子 (新人戦)	2m00	2m20 ~ 3m20	20 cm ずつ	3m20 以上	10 cm ずつ
	男子 (選手権)	2m80	3m00 ・ 3m20		3m20 以上	10 cm ずつ
四 種 競 技 (走高跳)	男子	1m30 1m40	1m35 ~ 1m55	5 cm ずつ	1m55 以上	3 cm ずつ
	女子	1m15 1m35	1m15 ~ 1m45	5 cm ずつ	1m45 以上	3 cm ずつ

- ①走高跳・棒高跳の決勝で、最後の一人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。
 ②ジャンプオフ (第1位決定戦) するためのバーの上げ下げは、走高跳は2 cm、棒高跳は5 cmきざみとする。

(TR26.9.4)

12. リザルト・次ラウンドスタートリストについて

リザルトはWEBと電光掲示板にて掲載、Cゲート付近で紙面にて掲載する。また、次ラウンドスタートリストについては雨天練習場に掲示する。

13. 表彰について

- (1) 新人大会は、男女別チーム対抗とする。
 ①男子・女子総合優勝チームに、それぞれ賞状・優勝杯を、2位・3位校に賞状を授与する。
 ②得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
 ③各種目3位までの入賞者に賞状を授与する。
 ④男女総合優勝チームに神戸大学杯を授与する。
- (2) 選手権大会は、個人表彰のみ行う。
 ①各種目3位までの入賞者に賞状を授与する。
 ②最優秀選手を男女各1名選出し、最優秀選手賞を授与する。

14. 写真 (ビデオ) 撮影について

悪質な写真 (ビデオ) の撮影を未然に防ぎ、子どもや選手をこれらの被害から守るために、大会中の撮影許可を下記の場合に限らせてもらいます。

- ① 大会運営本部より許可した報道関係者
- ② 大会出場チームの顧問、代表者
- ③ 大会出場選手の保護者

※撮影されている方に、上記に該当するか確認させていただく場合がある。

15. その他

- (1) 開始式・閉会式を行う。
- (2) 大会・規定申し合わせ事項等について競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (3) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (4) 競技会当日、午前6:00に神戸市に気象警報 (波浪以外) が発令された場合、その日の競技は中止とする。
 なお、今後の予定については県中体連陸上競技部HPに掲載する。ただし、混成競技に関しては気象状況に鑑み、競技日程を変更する場合がある。
- (5) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各チームの責任者で対応すること。
- (6) 競技主催者側でも消毒液を準備するが、各自除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。
- (7) 施設の備品を持ち帰らないようにすること。